



がん教育を振り返って

10月は厚生労働省が定める「がん検診受診率向上に向けた集中キャンペーン月間」

9月14日に慶応義塾大学 脳神経外科 講師の田村 亮太先生をお招きし、がん教育が行われました。

講演に参加していない1・3年生もほけんだよりを読んで話題にしてみてください

- ・がんは国民の2分の1の人がなり、3分の1はがんで死亡する現代。そのため誰でも当事者に、そして大切な人のサポーターになる可能性があるということ。ただステージ1や2では治癒率も9割あり早期発見することが大切。がんは早期に見つければ治りやすい！
- ・定期検診が大切だが、受診率は50%に達していない。その理由として「がんが見つかるのが怖い」のことで受診していない人がけっこう多い！がんはがんの種類によって、経過も必要な治療も全く違う。いろいろな情報がある中で正しい情報を求め、正しく恐れることが大切。がんというイメージだけで間違った情報に惑わされないことが大切。
- ・※子宮頸がんはヒトパピローマウイルスが原因であり、予防できるのは子宮頸がんワクチンであるため、高1の無料期間までに接種するかどうか判断することが大切。

田村先生の専門分野の脳についてもお話を聞きました。脳の素晴らしい働きから、その機能を維持するために高度な技術で行われる手術映像に興味津々の生徒たちでした。そして先生の夢、今後も【新たな研究に取り組み、治せない病気を治したい】という熱い思いを伺うことができた素敵な時間となりました。



田村先生の話聞いて、がん患者さんにできることや検診率を上げるために社会に望むことをグループで話し合いました。

がん検診を受けるとサービスが受けられると良いのでは…。SNSやメディアでがん検診の必要性性を訴えろと良いのでは…。など様々な意見が出て活発な話し合い活動となりました。

講師の田村先生から話を聞いて、初めて知ったこと、感じたこと

- ・がんの腫瘍が1cmになるのには10年かかるが、2cmになるのには2～3年と聞いて、1cmから2cmは早いなあと思いました。早期発見する大切さを知ることができた時間でした。(2B 金城)
- ・がんは誰でもなる可能性があり、性格やストレスが要因になることを初めて知りました。また当たり前ですが、生活習慣でもなるため、子どもの頃から気を付け、がんになりやすい身体にしようと思いました。(2B 大河内)
- ・みんながんになりたくないから検診を受診している人が多いと思っていたけど、「がんが見つかるのが怖い」「料金が高い」「自分は平気」などと考えて受診しない人も多いことを初めて知りました。私は手遅れになるより良いと思うので大人になったら検診を受けたいと思います。(2B 梅津)
- ・毎日分裂し新しくなっている細胞は分裂する中で変異した異常な細胞ができることがあり、本来人間の体はそれを修復や排除して正常に保たれるはたらきがあるのを初めて知り、人間の体ってすごいなあと思いました。(2B 中原)
- ・脳にも利き脳があり、脳の手術では脳には痛覚がないので皮膚にだけ麻酔をかけ、覚醒しながらすることもあること、皮膚を触った感覚も脳が働かなかつたら感じないことなどを始めて知りました。(2A 濱中)
- ・脳外科はとても難しい手術をしているんだなあと思いました。私は血を見るのは苦手ですが、手術の映像を見た時は恐いではなく、すごいなと尊敬しました。医師という職業に興味が湧きました。(2A 金城)

がん患者さんに対してあなたができること、社会に望むこと

- ・がん患者さんが近くにいたら、寂しさを感じることがあると思うので一緒にいる時間を増やしたいです。(2A 藤田)
- ・抗がん剤の副作用によって、髪が抜けてしまうなどのニュースを聞いたことがあります。人を見ただけで判断せずに誰にでも寄り添ってあげることができる存在になりたいと思った。(2B 村山)
- ・がんについての学びを深め、時間もお金も必要ない検診キットやがんを予防できる美味しいご飯など楽しく、タイムレスで予防できるものが開発されるとがんの死亡率も激減すると思いました。(2A 藤木)
- ・武居先生が話した「がん検診を受けた人はがんにかかった時の治療費が無料、受けなかった人は全額負担」という制度にすれば、皆が検診を受けるようになり、皆が得するようになった。我々中学生の役目はそんながん検診の存在や必要性を親や祖父母世代に伝えることだと思った。その動きが社会全体に広がれば良いのと思う。(2A 清水)
- ・検診率を上げるために話し合ったことはお菓子などのサービスがあると良いことです。献血でもタオルやお菓子が無料でもらえる所があるので同じようにあればいいなあと思います。(2A 永石)
- ・社会的な補償を拡大し、金銭的な余裕がなくてもしっかりと治療を受けられる社会になってほしい。また募金などで助け合うことも大切だと思う。(2B 内田)

今回、皆さんが講師の田村先生の話からがんについて真剣に学び、家族の健康や社会への要望まで考えるきっかけになったことが感想を読んで分かりました。特にがん検診の受診率をあげるために、自分たちが身近な親や祖父母に検診の必要性を伝えたいと書いている人が多く、素敵な時間になったことを嬉しく思いました。感想にもありましたが、皆さんのこの思いが社会全体を動かす大きな力となると信じています。